

”世知原っ子に「夢」と「笑顔」と「達成感」を”

夢をもち、心豊かで、たくましく生きる子どもを育成する



開 知

○笑顔いっぱい
○学びいっぱい
○元気いっぱい

世知原小だより第24号 平成30年9月13日 文責 久保 克則

スポレク祭楽しめました！

9月9日（日）に、世知原地区運動会「せちばるスポレク祭2018」にご招待いただきました。あいにく、前日からの雨で、その日のうちに、世知原地区公民館の体育室での開催の連絡がありました。準備等大変だったと思います。

当日は、予定どおり9時からのスタート。保育園の園児のみなさんから、小中学生はもちろんのこと、おじいちゃん、おばあちゃんの世代まで、多くの方々が参加されていました。

開会式の後には準備運動。私も一緒に行いました。「がんばらんば体操」までは何とかできましたが、その後のストレッチは、結構きつかったですね。2回繰り返されたのが応えました。体力のなさをとても痛感しました。

プログラムは、室内でできるものを中心に、午前中で終わることができるようになっていましたが、どれも楽しい競技ばかりでした。

何より、係の青年部や婦人部？の方々がてきぱきと動かれ、中学生のみなさんが、それをしっかりとサポートされていたので、スムーズにプログラムが進みました。



競技で圧巻だったのは、**チャレンジジャンプ（長縄跳び）の世知原中学校チーム**です。他のチームを、まったく寄せ付けない、ダントツの1位でした。何といっても、「早いリズム感とジャンプ力、そして、いつまでも跳び続けられる体力」。見てみると、まぶしく輝いていました。終わって喜んでいる笑顔もさわやかですね。若いっていいなあ、つくづく思いました。

世知原小学校の子どもたちと、世知原幼稚園の園児たちも負けていませんでした。まずは、**小学校5、6年生による迫力のある「ソーラン節」**。運動会以来でしたが、よく覚えていたなあ、我ながら感心しました。その後を、幼稚園の園児による



「わんぱく太鼓」。力強かったですね。確かNHKの大河ドラマの「西郷どん」のテーマソングにも合わせて太鼓を見事にたたいていました。カッコ良かったです。

演技の大トリを飾るのにぴったりでした。

スポレク祭を楽しみながら、私も子どもの頃を思い出しました。私の育った南池野地区も、中学生の頃までは、秋に「班対抗運動会」があっていました。それこそ、ムカデ競走に、パン食い、飴食い競争、仮装行列に班対抗リレーなど、大盛り上がりでした。その他にも、お祭りもありましたし、そういう行事もとおして、地区内がまとまっていたように思います。

今後続けていくのは大変なんでしょうが、できうるならば、若い世代へと受け継がれていくことが、人と人との絆の大切さを知る最もよいことかもしれません。